
震えて眠る羊と僕ら

umako

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

震えて眠る羊と僕ら

【Nコード】

N8972L

【作者名】

umako

【あらすじ】

不気味なクラスメイト、桐崎に誘われて行くことになった《石鳴島》で、殺人事件が。

ブローグ

虫を殺した。

ネズミを殺した。

アサトは震えてた。

鳥を殺した。

魚を殺した。

アサトは泣いた。

犬を殺した。

猫を殺した。

アサトは泣き叫ぶ。

次は何を殺そうか。

アサトは笑った。

桐崎ツカサ、というクラスメートがいる。とにかく不気味なやつ。なんたつて、前髪が顔の上半分を隠すほど伸びていやがるんだ。それもキレイに、ピンとね。肌は青白くて、唇は真っ赤。無口で、不気味つてよりオバケみたいだ。学校の奴らは誰も近寄らない。ほら、イジメっ子てのは自分より弱いやつをイジメるだろ？桐崎は、イジメられない。誰だつてこいつはヤバイつて感じるんだ。そーゆうやつ。

もちろん、オレだつてそんなやつに近寄らない。でも、どーゆうわけだか、桐崎がオレに近寄つて来た。桐崎は誰とも関わらない。はず、だったのにだ。それは明日から夏休みだつていう、帰りのホームルームの後。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8972l/>

震えて眠る羊と僕ら

2010年10月15日18時06分発行